

記者会見開催要旨

「ふるさとから、ふるさとへ」情報センター開設へ

西田敏行、菅原文太、見城美枝子さんからの訴え

3・11の東日本大震災から3カ月になろうとする現在、岩手・宮城・福島の3県を中心に約10万人の被災者が避難所暮らしを余儀なくされています。そうした中で、多くの自治体が被災者を受け入れてもいいと支援の手を差し伸べていますが、多くの方々がふるさとを離れがたいとして、あるいはその他の理由で現地にとどまっています。

しかし、現状においては仮設住宅の建設が遅れ気味、あるいは間に合わないということになっています。加えて、福島県においては福島第一原発の終息の見通しもたたないという状況にあります。

こうしたことから、今回は被災者の方々の受け入れを表明している高知県室戸市小松市長、同市議会議員、同四国26番札所の金剛頂寺ご住職が上京され、受け入れに対する思いなどをお話ししたいと申ししており、大分県竹田市首藤市長も参加されます。さらに長崎県中村知事も東北3県からの受け入れ支援を表明し、その考え方を明らかにします。

一方で、現段階で43県483自治体（ふるさと回帰支援センター調査4月14日現在）が受け入れを表明しておりますが、その情報が一方的なものとなり、被災者の手元に届いていないという情報もあります。こうしたことから、HP上でマッチングができるような「ふるさとから、ふるさとへ」情報センターを開設し、情報の提供を決意いたしました。

当日は、東北出身の西田敏行さん（俳優）、菅原文太さん（俳優）、群馬県出身の見城美枝子さん（コラムニスト・青森大教授）が上記の方々と記者会見を開催し、協力をお願いします。

記者会見ではそれぞれの方々が記者会見に至った経緯や思いを述べるなどご挨拶申し上げ、質疑応答することにしております。

お忙しいことと思いますが、ぜひとも取材をお願いいたします。

問合せ先

認定NPO ふるさと回帰支援センター 専務理事・事務局長 高橋 公（ひろし）

電話 03-3543-0336

FAX 03-3543-0346

以上